



失われる税と宴の後の国民負担

これまでコンパクトな五輪を安倍や菅、自公政権が約束してきたことは否定できない事実です。小池都知事も同じです。現在、進行中の五輪はマスコミ各社報道では当初予定されていた建設費などを含め三倍と言われています。

組織委員会等の人件費も今日の運営のゴタゴタを考えると無駄金を浪費してきました。そして何よりもこれ等の金は国民、都民の税金で賄われています。原発事故の放射能が除去、除染されていないにもかかわらず安倍は世界に向かって大嘘とパフォーマンス、そしてIOCへの裏金買収で、招致したのです。売国的なこれまでの経過を直視すれば、さらなる貧困層を産み、濡れ手に粟の

富裕層との分断社会は、五輪によって一層加速されます。そして単に税金が失われるだけでなく、腐敗に満ちた政治状況にますます拍車がかかることです。

さて、これで終わればまだ道もありますが、コロナで疲弊した経済です。五輪の赤字補填は重く国民と都民にのしかかります。冷えきった中小企業はますます企業存続の危機の中でのたうち回り、そこに働く労働者を切り捨てざるを得なくなるでしょう。コロナ禍による弱者虐めはより一層顕著になるでしょう。止める手だては秋の総選挙です。

怒りを自公、菅政権にぶつけましょう。

労働大学企画編集委員 飯田 邦雄